武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和８年度６月号
統括校長　飯星　健司
令和８年６月２日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

子供たちの成長の喜びを分かち合って

統括副校長　　東　高央

早くも夏日が頻出した初夏の暑さを感じる5月が過ぎ、6月を迎えました。学校ではエアコンの稼働時期を早めるなど、例年より熱中症対策を早めて教育活動を進めております。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かい御支援をいただき心より感謝申し上げます。

村山学園には、小学生と中学生が日々行き交う「日本一長い廊下」があります。校内巡回のためにこの廊下を歩いていますと、進級・進学から約2か月が経ち、新しい環境で着実に成長する子供たちを見ることができます。

4月の入学当初は不安そうだった1年生。1年生が入学して以来、小学部最高学年の6年生が毎日欠かさず、1年生の教室へお世話にきてくれていました。そのお陰もあって、今では1年生も自分でできることが目に見えて増え、朝の支度や給食の準備など、少しずつ自分たちでできるようになってきています。この自立へ向かう姿は、中学部に進学した7年生も同じです。4月半ばに「まだ制服に慣れません」とはにかんでいた7年生も、今ではその制服姿も板につき、頼もしい先輩の背中を追いながら中学校生活を送っています。先輩が後輩を導き、後輩は先輩の姿を追って育つ連鎖が、一人一人の成長を力強く促しているように思います。

5月中は、こうした児童生徒の日々の歩みが、運動会に向けた熱気へとつながっていました。元気なかけ声や、係活動に熱心に勤しむ生徒たち。1年生から9年生までが一つになり行事をつくり上げる情熱と努力の過程は、これからの学校生活を支える自信に変わっていくことでしょう。

日々の学びの積み重ねは、やがて子供たちが社会へと羽ばたいていくための原動力となります。子供たちが元気に未来へ羽ばたけるよう、学校と保護者の皆様、地域の皆様が手を携え、その歩みを温かく見守り応援していくことが、とても大切だと考えています。そして、子供たちの成長を大人みんなで共に喜び合える、そんな温かいつながりの中で、これからも皆様と共に子供たちを育んでいけたらと願っております。引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

～～村山学園エックス随時更新中です～～

この写真は4月28日に撮影した、第3昇降口（東門から3つ目の昇降口）付近の畑です。この畑では中学部のＳ組が作物を育てています。

5月中旬を過ぎ、登校中の小学部の中学年児童が「なんか、すごくでっかくなってる気がする！」と驚いていました。そんな驚きの成長の様子は、ぜひ、御来校いただいた際に御覧ください。また村山学園 X（旧 Twitter）でも配信いたします。

【村山学園 X】https://x.com/m_murayama_gak